

科 目	英語コミュニケーションⅡ	学年・類型	3年・普通科	単位数	2
教科書	COMET English Communication II (数研出版)				
副教材等	英単語ピーナツ Basic 100				
学習目標	英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を身に付けます。英語による「聞く、読む、話す、書く」の言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したりする能力を育成します。				
観点別 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用する技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的・社会的な課題について、英語で情報や考え、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したりしている。	英語による文、発話の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。		
評価方法	各学期末は観点別評価と評点で、学年末は観点別評価と評点及び5段階評定で評価します。観点別評価はA・B・Cの3段階で総合的に評価します。「知識・技能」は定期考査、小テストなど、「思考・判断・表現」は定期考査、レポート、授業中の発表内容など、「主体的に学習に取り組む態度」は提出物や授業態度などを基に評価します。				
	単 元	主 な 学 習 活 動			
一 学 期	Lesson 8 Nudge	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係代名詞 <b>what</b> について理解し、それをを用いて、私たちの身の回りの問題の解決策や工夫を英語で述べます。</li> <li>ナッジに関する文を読み、内容を理解します。</li> </ul>			
	Lesson 9 The Father of Braille Blocks	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係副詞 <b>when</b>、<b>where</b> について理解し、それをを用いて誰もが住みやすい社会について英語で述べます。</li> <li>点字ブロックの開発の父である日本人に関する文を読み、内容を理解します。</li> </ul>			
二 学 期	Lesson 10 Do We Need That?	<ul style="list-style-type: none"> <li>使役動詞 (<b>make/ let/ have</b>) の用法について理解し、それをを用いて日本で行われている様々なサービスについて英語で述べます。</li> <li>海外からの留学生が日本のサービスについて「必要/不要」の立場からの意見交換に関する文を読み、内容を理解します。</li> </ul>			
	Lesson 11 The Vancouver Asahi You Can Make a Difference	<ul style="list-style-type: none"> <li>知覚動詞 <b>see/ hear +O+動詞の原形 or 現在分詞</b> について理解し、それをを用いて人権の問題について英語で述べます。</li> <li>太平洋戦争以前のカナダで活躍した日系人野球チーム「バンクーバー朝日」の文を読み、その歴史、カナダの野球ファンに愛された理由に関する文を読み、内容を理解します。</li> </ul>			
三 学 期	Lesson 12 From Small Companies to the World	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮定法過去、仮定法過去完了について理解し、それをを用いて日本で開発・改良された優れた製品について英語で述べます。</li> <li>一般的に名前が知られていなくても、世界に通じる製品を作り、世界に通じる大きな仕事を成す企業に関する文を読み、内容を理解します。</li> </ul>			
	Reading The Story of Malala Yousafzai	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係代名詞の継続用法、過去完了進行形について理解し、それをを用いて女性の人権の問題について英語で述べます。</li> <li>テロの銃弾に倒れながらも、教育の大切さを訴え続けるマララ・ユスフザイさんに関する文を読み、内容を理解します。</li> </ul>			